

◎役員会開催 37年7月26日 於 土木試験所

出席者は真井会長伊福部，小崎両副会長，古谷幹事長，常任幹事北電 酒井，北大 菅原，明発局 平岡，札幌市 紙谷，土試 河野，林，のほか，顧問土試 宮川 北大 尾崎 PC 研究委員長 北大 横道 同委員藤田の諸氏。

まず古谷幹事長より，33年9月，本会切替後現在までの経過と会計報告のあと，主なる議事は，

- 1) 異形鉄筋研究委員会の新発足について………(後段動静報告の項参照のとおり)。
- 2) 会報の発行について………今後は折をみて・本会の動き・研究委員の動き・既刊技術資料の紹介などを行なう。
- 3) 室蘭地区会との関係………地区役員と謀り発展策として本会と一体化をも考えられること。

次回役員会を11月頃開くこととし，各研究委員会の報告(別項参照)があつて盛会裡に終了した。

日本学術会議第6期会員候補者推せん



◎当土木技術会は，来る11月に行なわれる(25日〆切)日本学術会議第6期会員選挙に，

北海道地方区・第5部 候補者として本会現会長である

北海道大学教授 まな い こう ぞう 真井 耕象 氏を推せんいたしました。

同候補者の略歴・業績などを改めて列記すると，氏は明治34年3月3日に生まれ，札幌市北25条東4丁目に現住・北海道大学教授の現職にある。

○略歴………大正14年九大工学部土木科卒業後北大工学部講師，助教授を経て昭和17年教授となる。

○その間主なる公職として………北海道土木技術会会長・北海道交通研究会会長・工業技術院土質試験法専門委員・国鉄北海道支社評議員・国鉄請負業者資格及び指名北海道地方審議会委員長・北大評議員・土木学会北海道支部長・土質工学会北海道支部長・北海道総合開発委員会委員(運輸通信部会長)・都市計画北海道地方審議会委員・札幌市都市計画審議会委員など数々の公職に選任され各界に対する学術的貢献による貴重な功績を残されつつ現在に至っている。なお去る36年夏パリにおいて開催の第5回国際土質基礎工学会議に日本代表の1人として出席した。

◎プレストレストコンクリート研究委員会(31年6月発足・委員長 北大 横道英雄)

○研究課題は…… 1) PC の設計理論 2) PC 工法の調査 3) PC 応用分野の調査 4) 既往例調査 5) 標準設計と製品規格 6) 内外文献の紹介と計算例 7) 同技術普及と資料の刊行

○以上の研究成果は技術資料として本会より刊行し会員には無料配付した。(後記参照)なお PC 橋工事を中心として研究委員会を 8 回・PC 新技術講演会を 1 回開いた。

◎異形鉄筋研究委員会 (37 年 6 月発足・委員長 北大 横道英雄)

- 研究課題は…… 1) 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリートの設計と施工指針 2) 既往例の調査 3) 内外文献の紹介
- 現在までの研究成果として……「ねじり棒鋼を用いた鉄筋コンクリートの設計) 施工指針案」を刊行した。

◎各種アスファルト合材の配合に関する研究委員会 (29 年 6 月発足・委員長 北大 板倉忠三)

- 専ら講演会を開催して技術の向上普及につとめ会員より好評を博しているが、最近の演題と講師は
 - 1) アスファルトについて…… 北大 板倉忠三氏 2) 舗装の表面性状について…… 北大 菅原照雄氏 (以上 37 年 3 月 14 日) 3) アスファルトの水利構造物への利用について…… 英国シエル石油 KK バロン・アスベック氏 (37 年 6 月 26 日) 4) 米国における最近の乳剤舗装について…… 米国ビチュマルス社西部研究所 A.H. ニューネバー氏 (37 年 10 月 6 日於自治会館)
- その他会員有志によって、新亞細亜石油 KK 函館製油所に赴きアスファルト製造装置を見学した。なお、本委員会は、再発展を期して一応本年中に研究成果を各委員が取りまとめ、報告書を作成中である。

◎「道路凍上」及び「泥炭対策」の両研究委員会は……予定の成果を収めたので今後は研究内容をしばって再発足をすることとなっている。

◎本会刊行技術資料の紹介…… (33 年以降現在まで会員に無料配付されたもの) ……

第 16 号泥炭地の土質工学的現地調査法に関する 2.3 の問題について

・ 34 年 1 月 泥炭地対策研究委員会

第 17 号 PC グラウト注入施工指針・ 34 年 2 月 …………… PC 研究委員会

第 18 号 同上…………… (改正) ・ 36 年 4 月 …………… PC //

第 19 号プレストレスト新技術に関する講演集・ 37 年 3 月 …………… PC //

第 20 号ねじり棒鋼を用いた鉄筋コンクリートの設計及び施工指針 (案)

・ 37 年 7 月 異形鉄筋研究委員会

以上の資料は残部があるので希望会員の利用を望む(要送料)……………会員外は実費

◎新会員の募集について……………<会員各位にお願い>

- 1) 新入会希望者は入会金として (1 回限り終身会費) ¥300 円を申込と同時に本会へ納めること。
 - 2) 入会と同時に在庫技術資料を無料で送付する。(要送料)。
 - 3) 会員は本会主催の見学会、講演会、講習会、研究会に無料で参加できること。
- 入会希望者には本会規約を送付する。

(文責山本主事)